

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【公表番号】特表2008-517953(P2008-517953A)

【公表日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【年通号数】公開・登録公報2008-021

【出願番号】特願2007-538227(P2007-538227)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月3日(2008.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

喘息、アレルギー、過好酸球増加症、一般的な炎症、および癌の少なくとも1つを治療しおよび/または予防するための、アンチセンスオリゴヌクレオチドであって、

オリゴヌクレオチドが、CCR3ケモカイン受容体、およびIL-3受容体、IL-5受容体、およびGM-CSF受容体の共通βサブユニット、およびIL-3受容体、IL-5受容体、およびGM-CSF受容体の共通βサブユニットと接触することができるその他のタンパク質からなる群から選択されるタンパク質をコードする核酸配列に対するものであり、そして(i) SEQ ID NO. 1、SEQ ID NO. 13、およびSEQ ID NO. 14からなる群から選択される配列、および(ii) SEQ ID NO. 1、SEQ ID NO. 13、およびSEQ ID NO. 14からなる群から選択される配列の修飾オリゴヌクレオチド、の一つである、前記アンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項2】

オリゴヌクレオチドが、SEQ ID NO. 1、SEQ ID NO. 13、またはSEQ ID NO. 14のいずれ

か1つを含む配列を有する、請求項1に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項3】

癌が白血病である、請求項1または2に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項4】

喘息、アレルギー、過好酸球増加症、一般的な炎症、および癌の少なくとも1つを治療しおよび/または予防するための、請求項1において定義された少なくとも1つアンチセンスオリゴヌクレオチドを、医薬的に許容可能なキャリアと組み合わせて含む、医薬組成物。

【請求項5】

少なくとも1つのアンチセンスオリゴヌクレオチドが、SEQ ID NO. 1、SEQ ID NO. 13、またはSEQ ID NO. 14のいずれか1つを含む配列を有する、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項6】

少なくとも1つのアンチセンスが、SEQ ID NO. 13の配列およびSEQ ID NO. 14の配列をそれぞれ含む配列を有する少なくとも2つのアンチセンスオリゴヌクレオチドである、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項7】

少なくとも1つのアンチセンスが、SEQ ID NO. 1の配列およびSEQ ID NO. 13の配列を有する少なくとも2つのオリゴヌクレオチドである、請求項4～6のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項8】

少なくとも1つのアンチセンスが、SEQ ID NO. 13の配列およびSEQ ID NO. 14の配列を有する2つのオリゴヌクレオチドである、請求項4～6のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項9】

少なくとも1つのアンチセンスが、SEQ ID NO. 1の配列およびGenBankアクセッション番号NM_000398-1の配列を有する少なくとも2つのオリゴヌクレオチドである、請求項4～6のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項10】

少なくとも1つのアンチセンスが、SEQ ID NO. 14の配列およびGenBankアクセッション番号NM_000398-1の配列を有する少なくとも2つのオリゴヌクレオチドである、請求項4～6のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項11】

局所用である、請求項4～10のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項12】

癌が白血病である、請求項4～11のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項13】

喘息、アレルギー、過好酸球増加症、一般的な炎症、癌および白血病を治療する際に使用するための医薬の製造のための、請求項1に記載の少なくとも1つアンチセンスオリゴヌクレオチドの使用。

【請求項14】

少なくとも1つオリゴヌクレオチドが、SEQ ID NO. 1、SEQ ID NO. 13、またはSEQ ID NO. 14のいずれか1つを含む配列を有する、請求項13のいずれか1項に記載の使用。

【請求項15】

少なくとも1つオリゴヌクレオチドが、SEQ ID NO. 13およびSEQ ID NO. 14をそれぞれ含む配列を有する少なくとも2つのアンチセンスオリゴヌクレオチドである、請求項13のいずれか1項に記載の使用。